

事業概要シート

施策	1301	農業の生産性の向上と販路拡大	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	米穀振興事業（施設等整備事業）		拡充	予算額	3,608 千円
事業期間	平成28年度 ～			≪ ≫	4,422 千円
根拠法令 要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		財 源 内 訳	国庫支出金	千円
				県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	千円
				一般財源	3,608 千円

【事業の目的・概要・対象】

《背景》

現在、農業者数の減少や農業者の高齢化により、労働力が減少しているため、労力軽減を図る必要がある。年々水稲作付面積が減少していく中で、水田の多面的機能（洪水防止、地下水かん養、豊かな自然景観を形成等）の機能を維持していくため、水稲を含めた米穀に係る省力化農作業機械の導入補助を行う必要がある。

《事業概要》

米穀生産に係る機械導入に対して、一部助成を行う。

補助対象：米穀生産農業者3戸以上で組織する団体

市補助金：補助対象事業費の1/4以内

ただし、地域計画を定める地域においては、2/5以内とする。（上限1,800万円）

《R7年度取組予定事業主体》

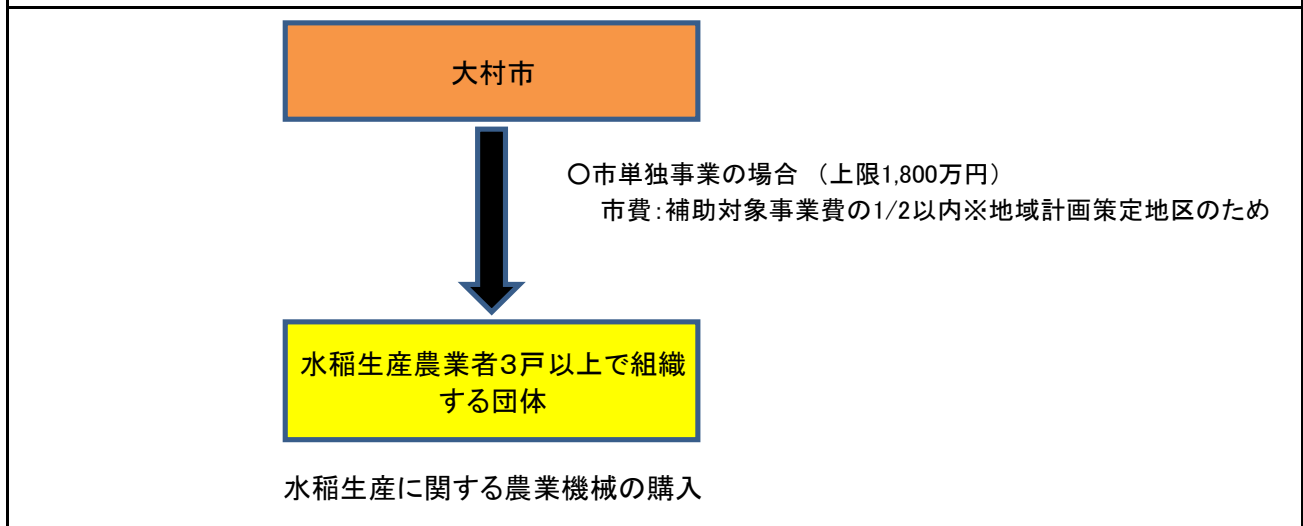
○釜川内受委託組合（※地域計画策定済みの地域）

事業内容 コンバインの導入

事業名 省力機械導入事業費補助金（市単独）

事業費 7,216,000円（内交付対象事業費7,216千円、補助額：市（1/2）3,608千円）

構成戸数 7戸 受益面積 4.6ha



【背景】

農業者数の減少や農業者の高齢化により、労働力が減少し、年々水稲作付面積が減少している現状である。水田には、雨水がたまることにより川の流れを安定させて洪水を防止するほか、土砂崩れ防止機能や地下水の確保、気温上昇の抑制など周辺環境を保全する数多くの機能があるが、労働力不足により作付しない水田が増加している。また、作付している水田においても労働力不足に伴い、市内水稲作付面積の約85%を無人ヘリで防除している状況である。

担当課	産業振興部農林水産振興課	課長	岩永 太
担当者	尾上 典史	問合せ先	0957-53-4111（内線264）

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	機械の導入台数	計画値	台	3	1	1	0	0
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	導入機械による作業面積	計画値	ha	20.7	5.7	4.6	0	0
②		計画値						

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	1,134	8,833	4,422	3,608	0	0	17,997
国庫支出金							0
県支出金		6,031	2,456	0			8,487
地方債							0
その他							0
一般財源	1,134	2,802	1,966	3,608			9,510
人件費	2,411	1,414	1,409	1,409	0	0	6,643
職員(人)	0.32人	0.18人	0.18人	0.18人			0.86人
時間外勤務(h)	42h	53h	50h	50h			195h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人			0.00人
フルコスト	3,545	10,247	5,831	5,017	0	0	24,640

妥当性 (市の関与)	本市農業の基幹作物は稲作であり、農業所得向上のための本取組を推進するためには適切な誘導や支援が必要である。
有効性 (施策貢献度)	米産地の育成に効果が発揮され、農業経営の効率化・安定化に効果がある。
効率性 (コスト)	本事業は入札により導入する機械を決定している。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり